

〇-10

生体環境調整素材としての複数種混合セラミック材料“PROUSION(プラウシオン)”配合クリームによる、末梢血流改善効果の確認

〇橋本 政和

NPO 法人日本健康事業促進協会

PROUSION®の効果はこれ迄に「フリーラジカル除去（'02 中日薬理学会@上海/復旦大学医学院中華薬物研究室）」「MyoD mRNA に対する作用（'08 日本スポーツ科学会@埼玉/日本大学次世代工学技術研究センター）」が確認されている。PROUSION®配合製品使用者の感想に「体が温かくなる」「風邪を引かなくなった」

「肩こりが楽になった」等、末梢血流改善に関わる効能が散見される事から、その効能を確認する為に今回は配合クリームを使い末梢血流の変化を測定した。

測定は顕微鏡とサーモグラフカメラを使って行う為、通常であれば塗布した近辺の指先の血流を照準にするが、今回は敢えて顔に塗布し手先、指先の血流に変化が起きるかを考察した。

PROUSION 配合品使用は 6 例、プラセボは 5 例。実験 2 時間前から飲食を禁止。室温 22~23℃。入浴後 30 分安静の後、二重盲検法の前で測定開始。塗布無~塗布 5 分後~15 分後~30 分後を測定。サーモ測定では実品で 66%に変化、プラセボで 80%に無変化を確認。顕微鏡測定では実品で 83%に変化、プラセボで 60%に無変化が確認された。

結果、PROUSION®は血液循環を改善する効果があると考えうる。

今後、症例を増して追試する。またその作用機序については今後の研究を待つ。